

平成29年度ふるさと愛の基金助成金（目録）贈呈式報告



日 時 平成29年5月15日（月）
午後13時30分～13時50分
場 所 県庁知事室

<ふるさと愛の基金助成>

「ふるさと愛の基金」は、県民の善意で支えられた基金の果実を活用して、県民の民間福祉活動を促進するため、社会福祉団体、社会福祉施設、ボランティア団体等が行う社会福祉事業に対し、幅広く支援することを目的としています。

本年度は、県内の69団体に総額1,179万円を助成することとなりました。今回を含め、これまでに延べ2,645団体に、約10億2,339万円を助成しています。

<贈呈式>

贈呈式には、本年度の助成決定69団体を代表して、4団体が出席しました。

- ・公益社団法人宮崎県老人クラブ連合会 常務理事 江口 勝一郎 様
- ・一般社団法人宮崎県腎臓病協議会 会 長 横山 真三 様
- ・特定非営利活動法人こじいの森・こどもの時間 理 事 本田 恭子 様
- ・特定非営利活動法人日向市手をつなぐ育成会

スマイルホーム360 施設長 高橋 滋 様

はじめに、社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会特別顧問の河野宮崎県知事から、目録が4団体に贈呈されました。

<目録の贈呈>

公益社団法人宮崎県老人クラブ連合会



平成24年4月1日設立（前身団体昭和36年12月1日設立）

この団体は、老人クラブ活動を通じて高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動並びに地域を豊かにする社会活動を行い、高齢者福祉の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的に活動している。

「いきいきクラブ体操」にロコモティブシンドロームの予防策を付加したメニューを作成し、ブロックごとに研修会を開催する事業を3か年計画で実施する。これにより、高齢者が普段から運動に取り組むきっかけとなり、健康の維持や向上が期待できる。

一般社団法人宮崎県腎臓病協議会



昭和48年8月1日設立

この団体は、腎臓疾患者の「命と暮らし」を守ることを目的に活動している。

腎臓病患者は内部障害にあたり、外見上その障害が周囲に伝わりにくく、災害時などは、外見上では気付かれることが困難であり、また自身の健康状態を周囲に伝えられないケースもあるため、内部障害があることを周囲に示す「ハートプラスマーク」を表示したカード（ネームプレート）を作成する。県内の透析患者が使用し、表示することにより、多くの人の目に触れ、県民の福祉理解が深まることが期待できる。

NPO 法人こじいの森・こどもの時間



平成15年10月1日設立（前身団体平成12年10月1日設立）

この団体は、子どもたちが自由に遊び大人と共に生き生きと過ごせる社会を目指して、子どもに関する団体や市民との連携・交流や様々な体験事業などを行うことで、子どもたちの健やかな成長と幸せのために寄与することを目的に活動している。

「わらべうたあそび」を支援者が学び合える講座を実施することで、子どもの発達や子どもに合ったわらべうたを理論と実践の両面から習得することができ、現場で生かすことができる。また、親子講座では、地域の子育てをサポートすることができ、地域の子育て力の向上が期待できる。

NPO 法人日向市手をつなぐ育成会



平成16年1月15日設立

この団体は、障がい者や高齢者などがその人らしい暮らしを送るための生活支援事業を行うことで、社会福祉の増進に寄与することを目的に活動している。

障害者を対象とした作業の一環でさをり織りを導入し、製品化して販売することで、利用者の意識や意欲を高め、仕事に対する原動力となることや利用者工賃の向上につながることを期待できる。

続いて、河野特別顧問にごあいさつをいただき、出席者を代表して、特定非営利活動法人
こじいの森・こどもの時間 理事 本田 恭子 様からお礼のことばが述べられました。

<河野特別顧問のあいさつ>



<お礼のことば>

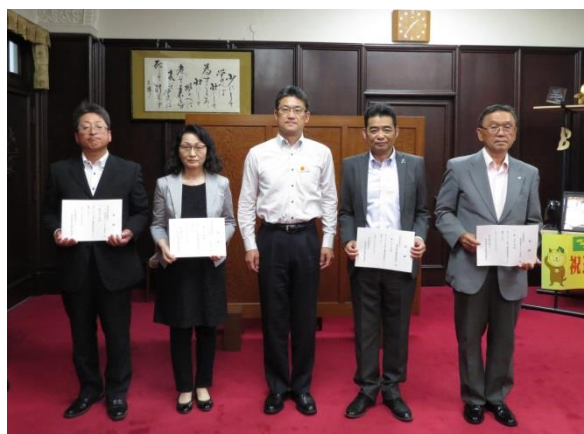


贈呈式終了後は、懇談会が行われ、出席者は河野特別顧問と各団体の事業内容などを話されていきました。

<懇談会>



<記念撮影>



皆様の善意で大きくなります！
～御支援・寄付をお願いします～

「ふるさと愛の基金」は県民の方々や企業等から寄せられた寄付金を「基金」として積み立て、その果実を活用しています。皆様の御理解と寄付への御協力をお願いします。詳細は、本会ホームページを御参照いただくか、本会福祉サービス推進室（0985-22-3145）まで御連絡をお願いします。

